

シリーズ 1、「物の観方・考え方」

視点を変えれば、問題解決！！

ことばの研究所
TEL 086-431-3481
kotoba_kan@yahoo.co.jp

- ※ 今月号から新たなシリーズ、「物の観方・考え方」を3回に渡り、連載することにした。
- ※ なぜ、このシリーズを設けたかの理由を簡単に述べる。
- ※ E P A 受け入れ機関は、未だに異文化社会の外国人受け入れに対して、十分な知識と認識がないままに、いわゆる「日本人感覚の対応」が蔓延している。
- ※ その結果、受験者が途中帰国をしたり、学習意欲だけではなく、労働意欲も喪失して、ただ単なる「出稼ぎ労働者意識」を強めるために、受け入れ機関内での人間関係の悪化や、諸問題の発生の原因となっているからだ。

- ※ 毎年の国家試験結果が、前述した対応を裏付けており、その結果は最悪の状態と言わざるを得ない。
- ※ この状況を改善するためには、受け入れ側の「物の観方・考え方」を変えない限り、解決しない。即ち、「日本人感覚」ではなく、「国際人感覚」で外国人対応をする必要があると言える。
- ※ 本シリーズは、今まで捉えていた【物事に対する視点】を再吟味するだけではない。今後、受け入れ機関が将来に起こる諸問題の判断材料にもなり得る「新たな価値観」を紹介する。

I、【人材育成を「大局的に観る」とは？】

1、受験者を受け入れる、「六つの視点」が必要

【図1参照】

- | | |
|--------------------|---------------------|
| A 外国人であっても日本人とみなす。 | D 日本語のみで対応する。 |
| B 特別待遇はしない。 | E 学習時間は「週三時間以内」とする。 |
| C 就業規則を遵守させる。 | F 職員と同等の労働条件にする。 |

2、人材不足解消を図る上で、絶対必要な視点

- | | |
|-------------------|------------------|
| A 受験者を使い捨て人材にしない。 | D 教育方針を確立し、従わせる。 |
| B 基礎言語能力を確実に養う。 | E 帰属意識を養う。 |
| C 受験者の勝手を絶対、許さない。 | F 合格後の定着を図る。 |

3、将来への現実的な対応視点が必要

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| A 良質な人材は E P A 人材だ。 | D 将来を担う人材を育成する。 |
| B 教育次第で良質な人材を育成できる。 | E E P A 人材で事業の国際化を図る。 |
| C 5年後の人材体制を想定して行う。 | F 永続できる経営を策定する。 |

II、【言語能力を「総合的に考える」とは？】

1、言語能力の到達度を考える視点が必要

【図2参照】

- ※ 多くの受け入れ機関は、客観的に判断ができる【言語能力到達度】を知らずとし、即ち、「教育は教育者任せ」の状態がある。

【言語能力】を把握するためには、入職時に到達度を見ることが絶対条件だ。さらに、3か月を単位に定期的な到達度を見ることが必要だ。

2、言語能力の実践力を考える視点が必要

- ※ 習得した言語能力の成果は、職場での実践力に表れることを認識すべきだ。即ち、言語能力と実践力は正比例化すると、判断する必要がある。会話だけではなく、記録を取る「構文力」も見ることが必要だ。

3、実務能力を考える視点が必要

- ※ 指示した事を正しく理解（聴解力）しているかを確認するためには、必ずそれを復唱させることだ。聴解力が不十分な場合には、指示通りできずに、再度、繰り返すこととなる。即ち、聴解力の到達度がそこに表れることを認識すべきだ。

4、国家試験合格に絶対必要な視点

- ※ 図2の通り、国家試験合格をさせるためには、段階を経て確実に言語能力を養いつつ、専門語彙、並びに知識を習得させる必要がある。そのために最も重要なことは、日本語が三つの言語で構成されていることを理解させることだ。即ち、「和語・漢語・外来語」の使い分け方と、規則性の知識がなければ、受験対応能力すら養えない。

図1、四つの視点

1. 大局的に 観る。
2. 総合的に 考える。
3. 体系的に 創る。
4. 継続的に 行う。

図2、【三か年学習計画】

-
- 三年目 合格能力育成
- 二年目 受験対応能力育成
- 一年目 基礎言語能力育成

【月報54号参照】

図3、【実践的な人材を養う】
「四つの基本技能」

- ※ 入職後3年間で「日本人並み」の職員に育てなければ、【実践力のある人材】を養うことができない。
- ※ 合格できても【実践力のある人材】でなければ、受け入れ機関の労働力不足は解消できない。

【月報79号参照】

Ⅲ、【 受験能力をどう養うか？（図 4 参照）】

- ※ 国家試験問題を解くためには、問題文を読み理解できない限り、解けない。
- ※ 即ち、問題文を意味理解できる言語能力が必要となる。つまり、受験能力とは問題文を意味理解する能力だ。

★ 受験能力の基本要素 ★

1. 文意に対する読解力の必要性。
「文意読解」とは、その文の意味することを読み解いて、その意味を理解する力を養うこと。
2. 試験問題の目的（意図）を理解する力の必要性。
出題領域に対する理解と、出題の意図を理解する能力を養うこと。
3. 選択文の文意を理解する力の必要性。
正解文となる根拠の語彙を選定できる能力を養うこと。
4. 「類似語」等の語彙理解力の必要性。
漢字熟語等の類似語の使い分け方を養うこと。
5. 【事例】「情景設定文」の文脈理解力の必要性。
情景設定文と選択文の関連性を理解して、正解文を選定できる能力を養うこと。

- ※ 肝心な事は、「受験能力」と「合格能力」との違いを指導者がはっきりと認識して指導する必要がある。
- ※ 受験能力を養うためには、言語能力を養うとともに、文意・文脈に対する読解能力を養うことだ。

図 4、合格への道 「三か年学習計画」



※ 上図は「人間の言語習得過程」を基に考えた計画だ。
日本人が国家試験を受ける場合にも、同じ過程を踏む。

Ⅳ、【 合格能力をどう養うか？】

1. 図 4 で示した「三か年学習計画」に基づいて、総合的に考えた学習指導を行うことが、合格能力を養う最も効率的で、最善の教育方法だ。
2. 基礎言語能力を養うにあたっては、図 3 の【四つの基本技能】を並行的に養うことで、より対応能力を養えることを認識すべきだ。
3. 合格能力は、基礎言語能力に基づいた受験能力があって初めて可能となる能力だ。即ち、合格能力だけを単独で養うことは、不可能と言える。
4. 合格能力に絶対必要な言語能力は、「漢字熟語」に対する語彙理解力だ。即ち、この対処方法を知らなければ、決して合格できない。
5. 受け入れ時に、「学習方針」を【大局的に観て総合的に考える視点】を堅持し、合格への指導を行うことが肝要だ。即ち、教育は教育の専門家に任せる姿勢が肝要だ。

図 5、【 到達度試験参加者と一般の合格率 】

- ※ 合格能力を評価する基準は、「過去の合格率」で見ることだ。図 5 は、到達度試験参加者と非参加者の過去三年間の合格率を示している。
- ※ 到達度試験参加者の合格率が高い理由は、図 6 の「指導者の資質の違い」と図 4 の「総合的な教育方針」とⅣの 1～5 の内容を着実に実行したからだ。



【教育指導者選定の目安表】（図 6 参照）

- A 教師の資質を見定めるには、採用前に必ず、数値で表した「言語技能別評価表」を定期的に出せるか、否かを確認すること。
（【月報 55 号】参照）
- B 受験者の学習意欲の継続と増大ができていないか、否かを確認すること。
- C 学習した言語力が実務で使えているか、否かを確認すること。
- D 学習状態を把握するために、授業見学ができるか、否かを確認すること。
- E 図 6 に従い、具体的に確認することで、その教育指導者の資質が判明する。

図 6、指導者の種類	読解	口答	聴解	構文	日本語専門知識	数値化できる	職種専門知識
1. 実践教授法教師	○	○	○	○	○	○	△
2. 自称日本語教師	△	×	△	×	△	×	×
3. ボランティア教師	×	×	×	×	×	×	×
4. 日本語学校教師	△	△	△	×	△	×	×
5. 自治体研修講師	×	×	×	×	△	×	○
6. 専門学校講師	×	×	×	×	×	×	○
7. 施設・病院職員	×	×	×	×	×	×	○

誰でもスカイプ授業の見学ができます！！

日本人職員の見学大歓迎

- 客観的に授業内容を見て、現在受けさせている授業と比較することができます。また、参加受験者と非参加受験者の言語能力を客観的に比較して観ることができますので、参考にしてください。

途中でも「到達度試験」に参加できます！！

途中到達度試験参加者大歓迎

- 2, 3 年目の受験者に限らず、足切り受験者でも参加することができるのが、到達度試験の特徴です。今まで途中参加者が無理なく、合格している実績を考えると、今からでもあきらめずにご参加下さい。

★ 受験者にも渡して、「読み聞かせ」をして下さい。

4月から教育方針を大転換！！

- 今まで受け入れた受験者は、日本語教師が来所し、週一回、2時間教えていた。日本語学習は、その先生に全て任せきりの状態だった。その先生は、日本語能力試験の過去問題を中心に指導して、事業団の教材を使っても指導をしていたようだ。実際の授業を見学することは、断られた。
- 3年間経って国家試験を受けたが、当然ながら不合格だった。なぜなら、3年間で受験者の教育効果が見られなかったからだ。そのため、今年1月に再チャレンジをするが、正直、合格できるか分からない状態だ。そこで、4月からの学習をどうしたら良いのか分からなくて迷っていたら、スカイプ授業の見学のお誘いを受けた。
- スカイプ授業を受けていた受験者が、国家試験過去問題を自分でスムーズに読んだり、先生に言葉の意味を説明している姿に正直、驚いた。僕らでも答える事が難しいなと思ったくらいだ。12月に新たに受け入れた候補者については、スカイプ授業見学の結果、今までの教育方針を変えて、到達度試験に参加して、指導してもらうことに決めた。

(愛知県・Y施設)

スカイプ授業の効果が凄い！！

- 先生を探してもなかなか見つからず、学校に通わせたくても遠かったりと、これからどうやって学習をさせようかと考えていた。2か月に1回、【月報】が届き、「スカイプ授業」について正直、どんなものか想像がつかず、対面授業のほうが安心だと思っていた。
- そんな時、スカイプ授業の見学ができることを知った。スカイプの使い方も知らなかったのですが、最初は断っていたが、見るだけでも、見てみようかと半信半疑で見学した。近くに先生がいないのに、受験者が自分で先生の指示通り、自学学習している姿を見て、心配ないことが確認できた。
- また、対面と同じように、受験者が質問して、先生が答えるやり取りの中で、受験者の発言のほうが多く、双方向授業であるのに感動した。さらに、「日本語を日本語だけで考えられる」受験者には、驚いた。
- 日本語学習の授業を実際に見たのもこれが初めてだった。やはり、授業を見てからよし悪しを決めることが大切だと思った。納得した上で、参加ができるので安心だ。

(福岡県・K病院)

途中参加して、急成長！！

- ボランティアの日本語教師に、週一回の指導を受けさせていた。一年間経過したが、目に見える変化や、教育効果がほとんどなかった。受験者は、「日本語が難しい」といつも言っていて、悩んでいた。
- 【月報】は毎号、目を通して参考にしていた。「10分間テスト」を実際に受ける機会があり、客観的に評価を得たいと思い、受けさせた。やはり、一年間の教育効果は全然なく、悪い結果だった。しかし、予想はしていたので、あまり驚くこともなかった。
- 受験者と今後の勉強の仕方について話し合い到達度試験と、スカイプ授業を受けることにした。今までは、日本語を文で話すこともままならない状態で、日本語文を書くことが全くできなかった。しかし、1回のスカイプ授業だけで、日本語に対する自信がついたようだ。すぐに、受験者の表情や声の大きさに変化が見られたことには、驚いた。
- 参加後は、施設内での学習時間も特別に設けてはいないが、自学学習で十分成長できている。参加して三か月後の現在では、夜勤もでき、非常に助かっている。(大阪府・A施設)

問題1問を30秒間で解ける！！

- 昨年は国家試験不合格に終わり、4月から思い切って教育方針を変え、到達度試験に参加した。到達度試験の参加者の合格率が非常に高いことを信じて、思い切って参加したのが、本音だ。
- スカイプ授業では、受験テクニックを中心として学び、特に前回の難問であった【事例問題】が解く時間もなくなったことが、不合格の原因だったと思っている。しかし、2回目のスカイプ授業を受けた後は、普通問題は1問を30秒間で解けるようになり、さらには、【事例問題】を1問1分間で解けるほどになったことには、驚くほかなかった。既に参加して5回目のスカイプ授業では、国家試験合格率は、90%と評価されてびっくりしている。受験者は確実に合格できる自信を持って、毎日、仕事をしている。
- 授業記録での教師のコメントは、「合格する以上、高得点で合格しなさい」との指導が、受験者に身に染みてあるために、放っておいても、毎日自学に励んでいることを見て、まるで、魔法にかかったような変化だと実感している。

(東京都・V施設)

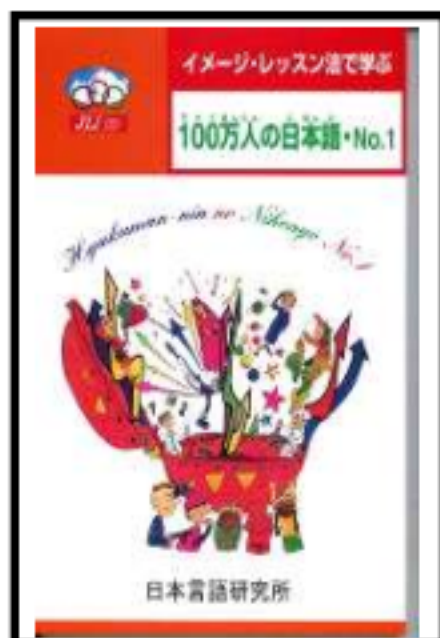
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる
- ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
- ③ 漢字も類推して読める
- ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

EPA学習支援
スカイプ・Zoomの使い方を
ことばの研究社
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町9-4-12

学習支援 主教材

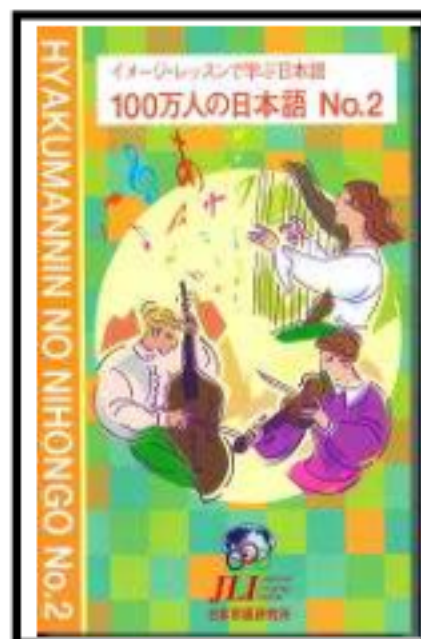
基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2805円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2805円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300円)

※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ！

教育効果の高さ

学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

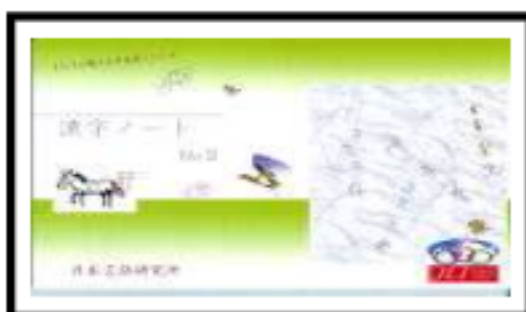
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその育出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきど (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約能力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)
＜ おまかせコース ＞

【一年目 到達度試験(初回～Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E～国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2、3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

★基礎言語能力の育成

- ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。
- ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。
- ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。
- ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。

●日本語能力を養う

- ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。
- ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。
- ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。
- ④簡単な業務日誌が書ける。
- ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。

★生活言語能力の育成

- ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。
- ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。
- ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。
- ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。

●国家試験受験能力を養う

- ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。
- ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。
- ③自学で「過去問」を解ける。
- ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。

★職域言語能力の育成

- ①業務の実践力を養う。
- ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。
- ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。
- ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。
- ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。

●国家試験合格能力を養う

- ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。
- ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。
- ③マークシートの解答ではなく文章による解答ができる。
- ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職 域 言 語 能 力 を 養 う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生 活 言 語 能 力 を 養 う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基 礎 言 語 能 力 を 養 う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		